

南三陸 復興まちづくり通信

第20号(平成28年2月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

志津川で「くらしの懇談会」開催

志津川で整備が進められている中央地区の復興公営住宅の入居予定者を対象にした「くらしの懇談会」が1月23日、24日の両日、役場会議室などで開催されました。入居までの流れを理解してもらうとともに、知り合いづくりの機会を提供することで入居者同士の交流を深めてもらうのが目的です。

このうち23日午前中に開かれた中央①街区の懇談会には住民6人が出席。「お茶っこタイム」と自己紹介の後、役場の担当者が工事の進捗状況について現場の写真や資料などを使って報告。さらに入居までのスケジュールや必要な手続き、管理自治会などに関する説明が行われました。また、現在仮設住宅で使用している備品のうち、県や町から譲り受けて復興公営住宅に持ち込むことができる備品についても詳しい説明が行われました。復興みなさん会のメンバーも、ファシリテーターや記録係として、懇談会のサポートをさせていただきました。



(志津川地区・中央団地イメージ図)



(旧志津川保健センターで開かれた「くらしの懇談会」)



(完成した戸建ての公営住宅。左の奥は3階建ての集合タイプの公営住宅。12月30日撮影)

伊里前復興公営住宅完成！今月入居開始

歌津地区で建設が進められてきた伊里前復興公営住宅が完成し、2月15日から入居が始まります。

歌津中学校上団地の高台移転造成地に建設された同住宅は、集合タイプ50と戸建て住宅10の計60戸が整備されました。隣接地には、4月初めに引き渡しが入居予定されている防災集団移転団地(51区画)や、5月の連休明けに供用開始予定の伊里前保育所と歌津子育て支援センターがあり、歌津地区の新たなコミュニティの中心として賑わいの創出が期待されます。

東松島のまちづくり推進員と交流会開催

東松島市復興まちづくり推進員 10 人が 1 月 21 日、視察研修で南三陸町を訪れました。一行は、午前中は復興みなさん会のメンバーの案内で戸倉地区を視察。建設が進む高台移転団地や災害公営住宅、海岸防潮堤などを見学しました。

さんさん商店街での昼食を挟んで、午後は志津川上山八幡宮社務所を会場に復興みなさん会との研修・交流会を開催。それぞれの地域の復興公営住宅の現状について情報を共有し、支援の取り組みについて話し合ったほか、お互いの活動について情報・意見交換を行いました。



(復興みなさん会のメンバーの案内で、戸倉の高台移転団地と復興公営住宅を見学する東松島市の推進員一行)



(昨年 10 月に伐採し、葉枯らしにしていた立木の玉切り作業。＝戸倉地区波伝谷の山林、1 月撮影)

南三陸産材で木の家づくり

～広がる「木の家づくり互助会」の活動～

南三陸町産材を活用した住宅建築を推進している「南三陸木の家づくり互助会」(小野寺寛会長)の活動が着実に広がっています。

これまでに町内だけで農漁家レストランや食堂、事務所や地域の集会施設など 5 棟が完成。今春には、板倉構法による本格的な木造住宅 2 棟の建設が予定されており、立木の伐採・製材などが進められています。秋口にかけてさらに 2 棟の住宅が着工の見通しで、設計の段階に入っています。

大分の小学校から樫のタネが届きました！

大分県由布市にある湯平小学校の生徒の皆さんから、今年も樫のタネが届きました。同校とは、当会の工藤真弓さんが仮設住宅に千羽鶴を送っていただいたお礼として「つなみの絵本」を寄贈したことから交流が始まりました。3 年前には、当会のメンバーが九州視察の際に同校を訪問し、震災の講話を行っています。その後も樫のタネを贈っていただくなど、交流が続いています。明治 34 年創立の湯平小学校は、残念ながら今年 3 月で長い歴史の幕を閉じ、由布院小学校に統合されます。



(湯平小学校を訪問した際の記念写真＝2013-11-7 撮影)

一般社団法人 復興みなさん会

 JAPAN PLATFORM 「共に生きる」ファンド助成事業

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

この事業は、株式会社 NTTドコモ様からの寄付金が JPF『共に生きるファンド』を通じて活用されています。